

長寿政策科学研究部

(1) 構成員

部長 荒井 由美子

室長

○ 長寿医療政策研究室

熊本 圭吾

○ 長寿保健政策科学研究室

加藤 剛平 (平成 24 年 7 月まで在任)

流動・研究開発研究員

水野 洋子

外来研究員

新井 明日奈

客員研究員

工藤 啓

杉浦 ミドリ

上田 照子

鷺尾 昌一

池田 学

上村 直人

研究補助員・事務補助員

安井 美淑

(2) 平成 24 年度研究活動の概要

当研究部のミッションは、“高齢者における保健、医療に関して、その実態を科学的に把握し問題点を分析することで、医療・保健政策立案に資するようなエビデンスを提示すること”であり、研究活動を通じて、このミッションを遂行していきたいと考えている。

認知症高齢者を含む高齢者の社会医学的研究

高齢社会に対する希望の醸成：「高齢期の生活実現期待」及び「高齢者観」の観点から

既に未曾有の高齢社会を迎えている我が国が、より活力ある高齢社会を構築していくには、高齢期の不安の軽減のみならず、高齢社会に対する希望の醸成が、等しく重要な課題である。しかし、高齢期の希望については、十分には明らかになっていない。

そこで当研究部では、高齢社会に対する希望の醸成に資することを目的に、一般生活者が高齢期の生活様式に対して実現可能であることを期待する事項（高齢期の生活実現期待）について検討を行った。

本研究では、一般生活者パネルから抽出した 2,500 名を対象に、自記式質問票により実施した郵送調査より、回答に欠損のない 1,951 人を分析対象とした。

「高齢期の生活実現期待」の評価には、老年学を専門とする研究者の意見や、高齢者を含む一般生活者からの聞き取り調査の結果に基づき、自身が高齢となった際に実現が期待できるかに関する 11 項目の質問を独自に作成し用いた。

「高齢期の生活実現期待」の世代間の差異と共通点を検討するため、以下の統計的解析を行った。まず、「高齢期の生活実現期待」の因子構造を明らかにするため、全年齢群のデータを用

い、探索的因子分析を実施した。次に、探索的因子分析の結果に基づき、性別の影響を統制した上で、構造方程式モデリングを用いて、年齢群ごとの因子モデルを作成した。

探索的因子分析の結果、一般生活者全体において、高齢期の生活に抱く期待には、①自身の能力や経験を発揮し可能性を伸ばすこと（自己実現の期待）、②種々の条件に束縛されない生活を送れること（ゆとりある生活の期待）、③家族や友人などとの交流を維持し増やすこと（親密な社会関係の期待）、以上 3 つの因子が存在することが明らかになった。

そこで、対象を、青年群・中年群・老年群に分割し、構造方程式モデリングを用いて因子構造を検討したところ、「自己実現」の因子のみが、各年齢群において安定して認められた。

また、75 歳以上の一般生活者において、「自己実現の期待」が高いほど、生活上の不満が無いと回答している者が多いことが示された。

以上の結果から、「自己実現の期待」は、幅広い世代に共通する「高齢期の生活実現期待」であり、その期待が高い高齢者は、より望ましい高齢期の生活を送っていることが示された。高齢期の「自己実現の期待」を高めることは、高齢社会に対する希望の醸成に資することが示唆された（熊本，荒井，老年精神医学雑誌 2013）。

研究業績（長寿政策科学研究部）

I. 論文発表

1. 原著

Arai Y, Kumamoto K, Mizuno Y, Arai A. The general public's concern about developing dementia and related factors in Japan. *Int J Geriatr Psychiatry* 2012; 27(11): 1203-1204.

Mizuno Y, Arai Y. Measures to support voluntary retirement from driving in Japanese older people: driving is not just a means of transportation. *J Am Geriatr Soc* 2012; 60(11): 2170-2172.

Washio M, Yoshida H, Ura N, Ohnishi H, Togashi T, Sakauchi F, Arai Y, Mori M, Shimamoto K. Burden among family caregivers of patients on chronic hemodialysis in Northern Japan. *IMJ* 2012; 19(3): 221-223.

Kurasawa S, Yoshimasu K, Washio M, Fukumoto J, Takemura S, Yokoi K, Arai Y, Miyashita K. Factors influencing caregivers' burden among family caregivers and institutionalization of in-home elderly people cared for by family caregivers. *Environmental Health and Preventive Medicine* 2012; 17: 474-483.

Toyoshima Y, Washio M, Ishibashi Y, Onizuka J, Miyabayashi I, Arai Y. Burden among family caregivers of the psychiatric patients with visiting nursing services in Japan. *IMJ* 2012; 19(2): 127-129.

Arai Y, Kumamoto K, Mizuno Y, Washio M. Depression among family caregivers of community-dwelling older people who used services under the Long Term Care Insurance program: a large-scale population-based study in Japan. *Aging Ment Health* 2013; (in press).

水野洋子, 荒井由美子. 英国における認知症の早期診断における「かかりつけ医」の役割に関する検討: National Dementia Strategy の策定の背景に着目して. *社会保険旬報* 2012 ; 2498 : 14-18.

水野洋子, 荒井由美子. 英国における認知症の早期診断における「かかりつけ医」の役割に関する検討 : National Dementia Strategy の概要及び課題に着目し

て. 社会保険旬報 2012 ; 2499 : 24-29.

上田照子, 三宅眞里, 荒井由美子. 介護保険サービスの必要量利用の可否が家族介護者に及ぼす影響. 厚生の指標 2012 ; 59(3) : 8-13.

山崎律子, 鷺尾昌一, 荒井由美子. 在宅要介護高齢者を介護する家族の介護負担感—都市部の訪問看護サービス利用者の調査より—. 臨床と研究 2012 ; 89(2) : 228-234.

豊島泰子, 鷺尾昌一, 高橋裕明, 井出三郎, 荒井由美子. 新型インフルエンザ(A/H1N1)流行シーズンにおける小中学生のインフルエンザワクチンの接種状況—ある学校法人の調査より—. 日本公衆衛生雑誌 2012 ; 59(6) : 390-398.

豊島泰子, 鷺尾昌一, 今村桃子, 荒井由美子. 訪問看護ステーションの管理者のインフルエンザワクチン接種に対する意識. 厚生の指標 2012 ; 59(12) : 7-11.

2. 総説

Washio M, Arai Y, Oura A, Miyabayashi I, Onimaru M, Mori M. Family Caregiver Burden and Public Long-Term Care Insurance System in Japan. IMJ 2012; 19(3): 229-233.

荒井由美子, 水野洋子. 認知症高齢者の自動車運転を考える: 家族介護者への支援. 交通安全教育 2012 ; 47(11) : 6-15.

熊本圭吾, 荒井由美子. 高齢社会における希望の醸成. 老年精神医学雑誌2013 ; 24(1) : 18-25.

水野洋子, 荒井由美子. 認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための「介護者支援マニュアル」の概要及び社会支援の現況. Geriatric Medicine 2012 ; 50(2) : 159-163.

工藤啓, 荒井由美子. 健康日本21(第二次)地方計画について: 加美町第Ⅱ期健康増進計画「げんき加美町21」を支援の立場から. 公衆衛生情報みやぎ 2013 ; 417 : 7-9.

鷺尾昌一，豊島泰子，山崎律子，宇佐いづみ，荒井由美子．家族介護者の介護負担に関連する要因：要介護高齢者の介護者の介護負担を中心に．臨床と研究 2012；89(12)：75(1687)-79(1691)．

3. 著書、Chapters

荒井由美子．精神障害の現状と分類．鈴木庄亮・久道 茂，監修．辻 一郎・小山 洋，編．シンプル衛生公衆衛生学 2012．東京：南江堂，2012：307-318．

荒井由美子．精神障害の現状と分類．鈴木庄亮・久道 茂，監修．辻 一郎・小山 洋，編．シンプル衛生公衆衛生学 2013．東京：南江堂，2013：313-325．

4. その他

特記すべきことなし

5. 新聞・報道等

荒井由美子．警視庁：高齢者交通指導員研修 「認知症高齢者の自動車運転を考える」．交通安全ジャーナル 2012 年 7 月号；48 頁．

荒井由美子．認知症「告知」：「見通し」詳しく伝えて．読売新聞 夕刊 2012 年 7 月 17 日：7 面．

荒井由美子．認知症「告知」：「見通し」詳しく伝えて．読売新聞 朝刊 2012 年 7 月 18 日：14 面．

荒井由美子．認知症 明日へ：〔告知〕「見通し」詳しく伝えて．YOMIURI ONLINE 2012 年 7 月 24 日．

荒井由美子．認知症「告知」：知らせるべきか 悩む医師．読売新聞 夕刊 2012 年 7 月 24 日：13 面．

荒井由美子．認知症「告知」：知らせるべきか 悩む医師．読売新聞 朝刊 2012 年 7 月 25 日：6 面．

荒井由美子. 認知症 明日へ：〔告知〕知らせるべきか 悩む医師. YOMIURI ONLINE 2012 年 7 月 31 日.

荒井由美子. 警視庁：高齢者交通指導員研修「認知症高齢者の自動車運転を考える」. 交通安全教育 2012 年 8 月号；52 頁.

荒井由美子. 説得より納得が大事：認知症ドライバー. YOMIURI ONLINE 2012 年 8 月 5 日.

荒井由美子. 説得より納得が大事：認知症ドライバー. 読売新聞 朝刊 2012 年 8 月 5 日：34 面.

荒井由美子. 認知症の運転. 日本経済新聞 朝刊 2012 年 10 月 22 日：35 面.

荒井由美子. 認知症の運転. 日本経済新聞 電子版 2012 年 10 月 22 日.

荒井由美子. 高齢者の運転：運転経歴証明書. 中日新聞 朝刊 2012 年 11 月 21 日：24 面.

荒井由美子. 高齢者の運転：運転経歴証明書. 中日新聞 電子版 2012 年 11 月 21 日.

荒井由美子. 高齢者の運転：運転経歴証明書. 北陸中日新聞 朝刊 2012 年 11 月 21 日：22 面.

荒井由美子. 高齢者の運転：運転経歴証明書. 日刊県民福井 朝刊 2012 年 11 月 21 日：14 面.

荒井由美子. 「運転免許：返納のサインは？」認知症高齢者の運転. 公明新聞 2012 年 11 月 30 日：4 面.

荒井由美子. 在宅介護の実態：家族介護者調査. NHK 総合テレビ：おはよう日本 2012 年 12 月 27 日.

荒井由美子. 在宅介護の実態：家族介護者調査. NHK 総合テレビ：お昼のニュース（富山） 2012 年 12 月 27 日.

荒井由美子. 在宅介護の実態：家族介護者調査. NHK 総合テレビ：ニュース富山人 2012 年 12 月 27 日.

荒井由美子. 在宅介護の実態：家族介護者調査. NHK ONLINE：各地のニュース（富山のニュース） 2012 年 12 月 27 日.

荒井由美子. 在宅介護の実態：家族介護者調査. NHK ラジオ第一：朝のニュース 2012 年 12 月 27 日.

荒井由美子. 家族介護者：抑うつ予防. NHK 総合テレビ：朝のニュース（富山） 2013 年 1 月 4 日.

荒井由美子. 家族介護者：抑うつ予防. NHK 総合テレビ：ニュース富山人 2013 年 1 月 4 日.

荒井由美子. 家族介護者：抑うつ予防. NHK 総合テレビ：夜のニュース（富山） 2013 年 1 月 4 日.

荒井由美子. 家族介護者：抑うつ予防. NHK ラジオ第一：朝のニュース（富山） 2013 年 1 月 4 日.

荒井由美子. 認知症とわたしたち：運転早めに「卒業」しよう. 朝日新聞 朝刊 2013 年 1 月 26 日：28 面.

荒井由美子. 認知症とわたしたち：運転早めに「卒業」しよう. 朝日新聞デジタル 2013 年 1 月 26 日.

荒井由美子. 高齢ドライバー：親の運転やめさせたい. AERA（朝日新聞出版） 2013 年 2 月 11 日号；53－55 頁.

荒井由美子. 在宅介護者：3 人に 1 人「抑うつ状態」. NHK 富山：発信!富山 Web 2013 年 1 月 24 日.

荒井由美子. 在宅介護者の 3 割は抑うつ状態：介護うつの実態. NHK 総合テレビ：おはよう日本（リポート） 2013 年 2 月 19 日.

荒井由美子. 医療ルネサンス 「車の運転：認知症」. 読売新聞 朝刊 2013 年 3 月 6 日：17 面.

荒井由美子. 医療ルネサンス 「車の運転：認知症」. YOMIURI ONLINE 2013 年 3 月 6 日.

6. 特許申請、取得状況
特記すべきことなし

Ⅱ. 学会・研究会等発表

1. シンポジウム、特別講演

熊本圭吾. JOQOL：評価尺度作成と短縮版の作成. (教育研修講演). 第 14 回 日本骨粗鬆症学会, 2012 年 9 月 27-29 日 (発表 27 日), 新潟市.

荒井由美子. 認知症患者の家族介護者の介護負担と情報提供による介護者支援. 第 32 回日本社会精神医学会 2013 年 3 月 7 日-8 日 (発表 7 日), 熊本市.

2. 国際学会発表

Izumi H, Oura A, Mori M, Washio M, Arai Y. The use of social services and factors related to the care burden felt by family caregivers of the at-home frail elderly - Comparison between 2002 and 2008 in Hokkaido, Japan - . The 5th International Conference on Community Health Nursing Research, 2013 March 13-14 (Presentation: March 14), Edinburgh, UK.

Toyoshima Y, Washio M, Arai Y. Factors related to depression among family caregivers of psychiatric patients who used home-visiting nursing services in Japan. The 5th International Conference on Community Health Nursing Research, 2013 March 13-14 (Presentation: March 14), Edinburgh, UK.

3. 国内学会発表

加藤剛平, 新井智之, 荒井由美子, 藤田博暁. 地域在住高齢者の買い物活動に

関連する環境因子. 第47回日本理学療法学術大会, 2012年5月25-27日(発表26日), 神戸市.

森田泰裕, 新井智之, 藤田博暁, 加藤剛平, 田中直樹. 地域在住高齢者の足趾把持力と前方リーチ動作能力との関係. 第47回日本理学療法学術大会, 2012年5月25-27日(発表26日), 神戸市.

松田智行, 田宮菜奈子, 柏木聖代, 加藤剛平, 野口晴子. 機能訓練事業利用者と介護保険サービスとの関係. 第47回日本理学療法学術大会, 2012年5月25-27日(発表27日), 神戸市.

水野洋子, 荒井由美子. 地方自治体における認知症高齢者の運転免許返納後の生きがい・社会参加に係る支援事業. 第54回日本老年社会学会大会, 2012年6月9-10日(発表9日), 長野県佐久市.

水野洋子, 荒井由美子. 認知症高齢者の外出・移動支援事業に係る聞き取り調査: 支援事業を実施している地方自治体の見解に着目して. 第27回日本老年精神医学会, 2012年6月21-22日(発表21日), さいたま市.

熊本圭吾, 荒井由美子, 上村直人, 福島章恵, 今城由里子. 認知症患者の自動車運転問題に関する介護者の自己効力感尺度日本語版の信頼性の検討. 第27回日本老年精神医学会, 2012年6月21-22日(発表21日), さいたま市.

水野洋子, 荒井由美子. 地方自治体による一般高齢者に対する外出・移動支援: 相乗り・乗り合い交通に着目して. 第71回日本公衆衛生学会総会, 2012年10月24-26日(発表26日), 山口市.

和泉比佐子, 大浦麻絵, 森 満, 鷺尾昌一, 荒井由美子. 在宅療養高齢者の在宅サービス利用状況ー2002年と2008年の比較ー. 第71回日本公衆衛生学会総会, 2012年10月24-26日(発表26日), 山口市.

豊島泰子, 鷺尾昌一, 荒井由美子. 精神疾患を有する要介護者を介護している家族の介護負担と抑うつ. 第71回日本公衆衛生学会総会, 2012年10月24-26日(発表26日), 山口市.

4. その他、セミナー等

荒井由美子，認知症高齢者の自動車運転を考える：家族介護者への支援，警視庁 高齢者交通指導員研修会，2012 年 6 月 15 日，東京．

荒井由美子，認知症高齢者とご家族への支援：認知症高齢者の自動車運転を考える，認知症市民啓発講座，2012 年 10 月 27 日，滋賀県守山市．

III. 公的研究費

1. 厚生労働省

荒井由美子，（代表）660 万円（総額 900 万円）

長寿医療研究開発費．

高齢者の自立支援に資する総合的研究：認知症高齢者を含む高齢者の移動・外出支援．

荒井由美子，（分担）50 万円

認知症対策総合研究事業．

認知症の包括的ケア提供体制の確立に関する研究．

2. 文部科学省

荒井由美子，（代表）70 万円（総額 117 万円）

科学研究費助成事業基盤研究 C．

認知症高齢者の自動車運転：支援マニュアルを用いた家族介護者に対する介入効果．

熊本圭吾，（分担）10 万円

科学研究費助成事業基盤研究 C．

認知症高齢者の自動車運転：支援マニュアルを用いた家族介護者に対する介入効果．

3. 財団、その他

荒井由美子，（代表）100 万円（総額 100 万円）

高齢社会に対する希望の醸成：「高齢期の生活実現期待」及び「高齢者観」の観点から．